

令和7年1月定例教育委員会議録

1. 日 時 令和7年1月8日（水）午後2時00分
2. 場 所 泉佐野市役所4階 庁議室
3. 出席委員 教育長 奥 真弥
教育長職務代理者 山下 潤一郎
委 員 中村 スザンナ
委 員 甚野 益子
委 員 石崎 貴朗
委 員 谷口 朋
委 員 形部 博紀
4. 説明のために出席した職員の職、氏名
教育部長 木下 隆
教育部理事 檜葉 浩司
施設担当理事 中野 康
日本遺産推進担当理事 中岡 勝
読書活動推進担当理事 大引 要一
学校給食担当理事 田中 伸宏
泉州国際マラソン担当理事 山路 功三
教育総務課長 鍵埜 和弘
教育総務課教育総務担当参事 山本 建志
教育総務課教職員担当参事 山岡 史賢
学校教育課長 長田 龍介
学校教育課学校指導担当参事 辻本 武司
学校教育課人権教育担当参事 渡辺 健吾
生涯学習課読書活動推進担当参事 細矢 祥代
スポーツ推進課泉州国際マラソン担当参事 池田 秀明
(庶務係) 教育総務課総務係長 室 拓二
5. 本日の署名委員 委 員 形部 博紀

議事日程

(報告事項)

- 報告第1号 教育委員会後援申請について
報告第2号 教育委員会後援実施報告について

(午後2時00分開会)

奥教育長

ただ今から令和7年1月の定例教育委員会議を開催します。

本日の傍聴はございません。

委員全員が出席をされておりますので、会議が成立しております。

本日の会議録署名委員は形部委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

それでは、本日の審議に入ります前に、12月定例教育委員会議の会議録についてご確認をお願いいたします。委員の皆様で何かお気づきの点がありましたら、お願いいたします。

無いようでございますので、会議録の確認は終了させていただきます。恐れ入りますが、中村委員は後ほど署名をお願いします。

それでは本日の審議に入りたいと思います。

はじめに報告第1号「教育委員会後援申請について」を議題といたします。報告をお願いします。

鍵埜教育総務課長

教育長専決により教育委員会の後援名義使用を承認した事業について、報告資料1に基づいて説明。

継続7件の事業内容について報告。

奥教育長

ただ今の報告について、ご意見ご質問がございましたらお願いします。

すべて継続の事業ですね。

鍵埜教育総務課長

その通りです。

中村委員

上から3番目の「ヒューマンアカデミー STEAM スクール ロボット製作無料体験会」について、継続ということは、昨年度も同じ内容のものが実施されたということでしょうか。

鍵埜教育総務課長

昨年度も同様の内容で後援申請がございました。

中村委員

例えば「第2回」等の回数を示す言葉は名称についていないのですか。

鍵埜教育総務課長

ご提出いただいている資料には回数は載っておりませんでした。

奥教育長

前回と同じ時期の開催ですか。

鍵埜教育総務課長

昨年は1月の定例教育委員会にて報告させていただいており、期間も令和6年1月20日から3月31日と今回と同様です。会場についても今回と同様で泉の森ホール、羽倉崎駅前、日根野での開催でした。

中村委員

参加費はいくらでしょうか。

奥教育長

無料体験会なので、参加費は不要です。

中村委員

平日の開催ですか。

鍵埜教育総務課長

開催日は休日が多いようです。

奥教育長

かなり長い期間の開催ですね。

中村委員

毎週水曜日のような形での開催ですか。

鍵埜教育総務課長

曜日を限定している会場もあったと思います。

奥教育長

おそらくはプログラミングして、ロボットを動かすということですね。

鍵埜教育総務課長

ロボットを組み立てるにあたって、うまく動作させるプログラムを自分で作成してみるなどもあります。内容的には問題のない事業となります。

中村委員

以前、上之郷小学校へ見学に行った際、企業の方がいらっしゃって、模造紙の上をロボットが右に進む、左に回る等の動作をプログラミングしましょう、動きを繋げましょうといった講座がありました。専用のキットを組み立て、その後実際に動作させて絵を描かせてみるといった内容であったことを少し思い出しました。

奥教育長

泉佐野市も企業と提携して、ロボットではありませんが、何かを製作して実際に動かしてみるこの事業と似たような体験学習はこれまでも実施していました。ちょうどプログラミングが授業に導入された頃に実施していました。

中村委員

そちらと似たようなものですね。

奥教育長

よろしいでしょうか。他にございませんか。

甚野委員

下から2番目の「国際交流&イングリッシュキャンプ」について、昨年末の教育フォーラムにて、ベトナムへ行った子ども達の報告会があった際、子ども達の様々な意見の中に、ベトナムの方ともっと話せるようになりたかったことや、深く交流するためには語学力が必要であることを痛感したことを話す子どもが何人かいました。基本的には英語が世界の共通語になると思いますので、このような機会をたくさん作ってもらったら良いと思います。海外に行くことができない子どもでも、このキャンプであれば1泊2日ぐらいの参加しやすい日程であるため、子ども達に自分自身の英語力を自覚してもらえるととても良い機会ではないかと思います。

奥教育長

ありがとうございます。子ども達へ案内のチラシ等は配布されているのですよね。

鍵埜教育総務課長

申し訳ございません。本日担当課長である青少年課長が体調不良のため会議を欠席しており、詳細の説明については、後日対応ということでお願いします。

中村委員

では、こちらの「国際交流&イングリッシュキャンプ」については後日説明していただけるということですね。

奥教育長

今の質問の回答についてはまた後日ということでお願ひします。

よろしいですか。他にございませんか。

無いようでございますので、以上で報告第1号を終わります。

次に、報告第2号「教育委員会後援実施報告について」を議題といたします。報告をお願いいたします。

鍵埜教育総務課長

報告第2号「教育委員会後援実施報告について」ご説明いたします。

報告資料2「教育委員会後援実施報告一覧表」をご覧ください。

報告件数は今回9件でこれらは以前に教育委員会で後援承認したものであり、実施報告ということで、報告資料2をもって報告にかえさせていただきます。

奥教育長

ただ今の報告について、委員の皆様でご意見ご質問がございましたらお願いします。

無いようでございますので、以上で報告第2号を終わります。

続きましてその他で何かございますか。

辻本学校教育課学校指導担当参事

学校教育課の辻本です。子どもの主張コンクールについて、少しお時間をいただきます。机席にお配りしております資料をご覧ください。

教育委員の皆様におかれましては、本コンクールの審査につきまして、ご協力ありがとうございました。

最終審査の結果、今年度、小学校の部では、第三小学校4年生の「防災すごろく・防災かるたを作ろう!」が最優秀賞を受賞しました。また、優秀賞に中央小学校と日根野小学校がそれぞれ選ばれております。中学校の部では、長南中学校人権問題研究部の「わたしたちの校長先生」が最優秀賞を受賞しました。また、優秀賞に新池中学校の2作品が選ばれております。最優秀作品につきましては、1月18日の教育委員会表彰にて表彰される予定となっております。

さて、本コンクールは、泉佐野市の子ども達の学力面における課題、具体的には、「主体的に学びに向かう力」、「自分の考えを相手に伝える力」、「情報活用能力」等の力を、仲間とともにこの活動に取り組むことによって、育んでいくことを目的としております。これは学力向上に向けた授業改善にもつながるものであると考えております。

第三小学校の最優秀作品を例にポイントを少しご説明させていただきます。

この取り組みでは、子ども達が「学校では避難訓練をするけど、災害についてあまり詳しく知らない」という課題を見出し、そこから防災について「学ぼう」「作ろう」「伝えよう」と具体的な

取り組み内容を計画していきます。それぞれの段階において、子ども達は個別最適な学びと協働的な学びを往還しながら、一人一台端末を活用して調べたり、まとめたり、また、模造紙や画用紙を使用して、かるたやすごろくを作ったりするなど、自己選択、自己調整しながら学びを進めていきます。そして下級生と一緒にかるた遊びやすごろく遊びをすることを通して、まとめ・表現を行なうという「探究的な学習のサイクル」がしっかりと確立された素晴らしい取り組みでした。

このように子どもが主体となって取り組みを進めていく作品が年々増加しており、これは各校において主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善やカリキュラムマネジメントが進んでいる成果であると捉えております。

一方、課題としては、作品によっては意見文のみや写真のスライドのみになってしまっているものが散見されるということです。しかし、これらの取り組みにおいても、学級では教師から子どもに活動の目的等を説明した上で取り組んでいるはずで、泉佐野市教育委員会としては、各校において、教科にとらわれることなく、子ども達が主体的に学びを深めることを意識した計画をもとに、作品としてまとめるよう、さらに周知を行うなど働きかけていく必要があると考えています。

本コンクールを活用して、本市の子ども達が未来を生き抜く力を見据え、主体的に学び、考え、行動できる力を育むため、次年度以降泉佐野市教育委員会としてさらに力を入れてまいりたいと思います。

以上です。

奥教育長

ただいまの「子どもの主張コンクール」につきまして、ご質問がございましたらお願いします。

中村委員

第三小学校の「防災すごろく・防災かるたを作ろう！」という作品についてのお話の中で、ゆくゆくは子ども達が子ども向けの防災士の資格を取得することや、教員が防災士の資格を取得することを目指すような話がありましたか。

辻本学校教育課学校指導担当参事

具体的にはそこまでの話は聞いておりませんが、中村委員がおっしゃったような、子どもの主張コンクールから次へ、さらに次へとつながっていくことを期待して、今後も引き続き取り組んでいきます。

中村委員

期待しております。

奥教育長

泉佐野市では平成28年から全ての4年生がジュニア防災検定を受けていますね。

渡辺学校教育課人権教育担当参事

本市では小学校４年生がジュニア防災検定を受けることになっておりまして、検定を受けること自体が目的ではなく、検定に向けた事前の学習や、家庭に持ち帰って課題を追求していくことによって、防災についての意識を高めていくことを目的として進めているところです。よって泉佐野市内の小学生は必ず４年生の段階で防災についての学習をしておりますので、今回の子どもの主張コンクールにて防災に関する作品が４年生から提出されたのは、この学習からスタートしている部分もあり、防災学習がしっかりと学校の中で位置付けながら進められていると考えております。

中村委員

実際の検定について、全ての小学校で受検しているのでしょうか。

渡辺学校教育課人権教育担当参事

全ての小学校の児童が受検しております。

中村委員

防災検定の合格証書は児童のご自宅にあるのでしょうか。

渡辺学校教育課人権教育担当参事

一般財団法人防災教育推進協会から合格証書が送付されます。

奥教育長

泉佐野市も表彰されていますね。教育長室に飾っています。

渡辺学校教育課人権教育担当参事

防災教育を推進しているということで表彰されております。

奥教育長

辻本参事から説明がありましたが、主体的ということ、すなわち目的意識を持って課題に取り組むということが最も大切です。そちらに基づき、大人でもPDCAサイクルを回して様々な行動をしておりますが、子ども達もそのようにきちんと道筋を認識した上で取り組むということが大切だと思っております。子どもの主張コンクールも今年で６回目ということで、皆様頑張って取り組んでいただいております。

特に第三小学校ではICTを本当に様々に活用してくれており、自宅で作成した様々な素材を学校で組み合わせて作成していると渡辺参事から私に報告してくれていましたね。その辺りについて説明をお願いします。

渡辺学校教育課人権教育担当参事

本市ではジュニアICTリーダープログラムを実施しておりまして、希望する高学年の小学生と中学生が集まって、まさにこの子どもの主張コンクールにおいても当プログラムも実施しているとこ

ろです。いわゆるジュニア ICT リーダーの育成を図っておりまして、令和 6 年 12 月に東京大学の会場にて、全国のジュニア ICT リーダーが一堂に集まったジュニア ICT リーダーサミットが開催されまして、そちらに今年度は第三小学校の 3 年生が参加をしております。ICT を活用して学びをどのように深めていくかというプレゼンテーションを行いました。こちらは子ども達自身が作成しております。第三小学校の教員も本当に慣れたもので、データの共有を行い、自分達のできる時間に作成しなさいと指導をしており、子ども達自身も何をすべきかがよくわかっており、自宅など自分のできるところで少しずつ作成して、最後に持ち寄ったデータを合わせております。読み原稿も子ども達が自分達で全て作成しており、進め方がうまくシステム化できており、子ども達自身でサイクルが確立されていると見受けられました。ICT をうまく活用しながら、あくまでも目的ではなく手段として用いながら、しっかりと自分達の伝えたいことをブラッシュアップしたプレゼンテーションを行い、今回東京大学の会場で、泉佐野市の子ども達はすごく活躍をしてくれました。参加者による投票の結果、泉佐野市が一番となり、敢闘賞をいただきました。

中村委員

動画を拝見いたしました。

奥教育長

ICT を用いながら、子ども達が自身で学びを深めていく活動をもっと充実させていきたいと思っております。

私が最も良かったと感じた長南中学校の実践は、校長先生が足に不自由があり、いつも杖をついている姿を見て子ども達が目的意識を持ち、校長先生から様々なことを聞き取り、共に生きるということを考え、様々な活動にも活かしていくという取り組みでした。子ども達が非常に身近なことから課題を見つけて取り組んだことがよかったと思っております。

他に質問はございませんか。

甚野委員

子どもの主張コンクールを何年か見せてもらっている中で、優秀な学校はその趣旨を理解して、どんどん内容を成長させていますが、そうではない学校もやはり見受けられました。資料の羅列に終わっており、そこから何か考えているというよりも、前年度の資料を使ったのではないかとといったような内容であった学校も見受けられます。学校によって、子どもの主張コンクールの趣旨に対する理解度に大きな差がついていることを少し心配しています。

奥教育長

確かに学校によって温度差があるため、そのようなこともあります。考え方としては、この子どもの主張コンクールはひとつの手段であり、日頃から全ての教育活動がこのコンクールで見られたように、子ども達自身が学びを深める意識を持って取り組むことが大切です。そのように学校を作っていくこと、教育活動を作っていくことを、校長先生方をはじめ教職員が皆意識をし、学校の教育で学力をつけることや生きる力をつけることにおいては先生方と一緒に子ども達自身にも学校を作っていくという意識を持って取り組んでもらうことが大切だと思います。甚野委員がお

っしかったようなご指摘につきましては、またこちらからもご指導もさせていただきたいと思えます。

他にございませんか。

谷口委員

年末に学校から医療的ケア看護師募集のチラシが配布されていて、来年度入学するお子さんの中にも介助を必要とする方がいるのかなと思い、これまで意識をしておりますでしたが、そういえば毎年募集のチラシが入っていたかもしれないと思っております。実際に募集のチラシを配布したことでどれくらいの応募があるのか、医療的ケア看護師は何人必要になるのか、差し支えなければ教えていただければと思います。

渡辺学校教育課人権教育担当参事

医療的ケアが必要な児童の入学が年々増えてきております。現在、市内の小学校にはケアが必要な児童が3名いらっしゃるところで、そちらにつきましても、医療的ケア看護師の方に入っていた状況ではありますが、会計年度任用職員の勤務実態が、学校に入っていただく方の働き方と少しそぐわなかったり、ご自身のライフワークと合わなかったりというところがありますので、1年間には医療的ケア看護師として勤務はできるが、継続は難しいという方もいらっしゃいますので、募集をかけさせていただいております。

また、来年度は医療的ケア看護師が必要な児童が1名入学する予定でありますので、そちらに向けても、現在募集させていただいており、家庭にもご協力いただいて、チラシを配布させていただき、市のホームページの方にも募集を掲載しているところです。

おかげさまで、募集に対しての応募が現在ありますので、面接や、実際に学校現場の状況を見てもらう等、現在話を進めているところです。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

中村委員

給食の献立表を拝見しまして、児童が考案したメニューを学校給食に採用する企画をやってくさっており、小学校の方で献立採用賞として、1週間、児童が考案したものを作ってもらえるのは、すごく子ども達も喜ぶと思いますが、小学校名だけを拝見すると、偏りがあると感じました。今回その他の小学校からも応募がありましたが、選考から漏れてしまったということによろしいでしょうか。

田中学校給食担当理事

中村委員のおっしゃる通りで、これまでは毎年それぞれの学校から偏りのないように採用できておりましたが、今年は偏りのある形となってしまいました。

中村委員

毎年実施してくださっているんですね。

田中学校給食担当理事

毎年実施しております。今年は、たくさんメニューを提出したのに採用されていないとお問い合わせいただいた学校もありました。

中村委員

採用するかどうかは給食センターの皆さんが投票とかされるのでしょうか。

田中学校給食担当理事

栄養士全員で内容を審査して、実際に給食にふさわしいかどうかの視点や、調理が可能かどうかといった視点もあり、考案されたメニューをそのまま給食として出すのではなく、工夫することで給食として出すことが可能かということも考えて、選考しております。

奥教育長

よろしいですか。どの学校からも採用されるようになればよいですね。

他にございませんか。

鍵埜教育総務課長

日程の連絡になります。今回の会議資料送付の際に、令和7年度の会議日程について資料を入れてさせていただいておりますので、またご予定について、よろしくお願いいたします。

奥教育長

他にございませんか。

無いですので、本日の委員会に付議されました議題はすべて終了いたしました。

次回の2月の定例教育委員会議は令和7年2月5日水曜日、午後2時から、市役所4階庁議室で開催いたします。

それではこれをもって本日の会議は終了いたします。

(午後14時30分閉会)